

TTC ゆった〜り山行実施記録表

2014年2月4日 報告者：菊地友弥

山行名	二宮・吾妻山ハイキング	136.2m (神奈川県)
実施日	平成 26 年 2 月 1 日(水) 日帰り 公共交通利用	
天候/参加人員	天候：晴れ レベル：☆ 参加者：申込 21 名/実施 18 名 (男 6 名/女 12 名)	
パーティスタッフ	計画/CL/救護： SL:、 会計：なし、写真： スタッフ名削除	
参加メンバ	参加者氏名削除	
費用 (本厚木起点) 1240 円	本厚木==平塚 神奈中バス利用 往復 880 円 平塚==二宮 JR 往復 360 円	

	歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行距離:約 2.5km
計画	2:20	1:00	3:20	
実行	1:45	1:00	2:45	

実行コースタイム記録

神奈中バス	JR 東海道線	昼食			
本厚木南口 == == 平塚北口 == == 二宮駅.....	吾妻山山頂.....	中里登山口.....			
8:45 発	9:26 発	10:00	10:40	11:40	12:00
買い物	解散	(オプションコース・湘南平)	神奈中バス	神奈中バス	
二宮駅前物産館.....	二宮駅 == 大磯駅.....	高田公園.....	湘南平.....	上万田 == 平塚駅 == 本厚木	
12:15 12:35	12:40	12:50	14:00	14:35	15:21 発 16:45 頃

コースの概要、特記事項、反省事項等

前日までに 3 名の方からキャンセルの連絡があり 18 名の参加になった。定刻前に全員が二宮駅に集合。大寒の季節にしては暖かい春を思わせる陽気である。時間が早いせいか思ったほどの人出もなく全員が一緒に行動しても問題はなさそうなので、そろそろと勝手に群れて登山口に向かう。駅前の町民会館で特産品の販売をされていてパンフレットを配りながら呼び込みをしていた。ここは帰りに寄ってみようと思い素通り、数分で役場前の登山口に着く。ここでもおそろいの格好で観光協会のメンバーが愛想よくパンフレットを配りながら見送ってくれた。300 段ほどある急なコンクリートの階段をゆっくり登るが息も弾み汗ばんでくる。階段を登り切ると山道になる。山頂に続くいくつも小径の傍らにはスイセンが群生して咲き誇り甘い香りを漂わせている。山頂の菜の花と同じ頃に咲き、吾妻山の観光名所となっている。多くの方が花を背にして記念撮影をするポイントである。我々もご多分にもれずモデルになってカメラの前に並んだ。写真を撮っている間にだいぶ人が増えてきたようだった。メインの通りから外れた下の細道を吾妻神社に向って歩く。間もなく静かな神社の境内に入る。神社の祭神はオトタチバナヒメで (大和武尊の奥さん) ご神体は「櫛」と吾妻神社由緒記にある。賽銭箱に銭を投じて神妙に参拝、みんな何を願ったのか? 神社の脇の道を抜けると視界が一気に開けて山頂の色鮮やかな菜の花畑が目飛び込んでくる。山頂は大勢の人で賑わい、枯れた芝草で覆われて開放感この上ない。空は青く晴れて暖かい日差しがふりそそぐ何とも良い気分だ。江ノ島、相模湾、伊豆半島、箱根連山、丹沢山塊、と黄色い菜畑を前にパノラマの絶景が広がる。思わず感嘆の声が上がる。唯一残念なのは雪化粧をした富士山が見えないことである。この暖かい陽気で霞が立ち、目をこらした彼方ようやく輪郭が確認できるだけである。ゆっくり景観を愉しんだ後、昼食には早かったが山頂の枯れ芝の上で遠足気分のランチタイムにする。S さんが病後の最初の山行だといって旨酒を振る舞ってくれた。良かったね S さん、元気になって。食事を終え、菜の花を背にして全員集合の写真を撮る。O さん自慢の一眼レフで本日唯一の集合写真である。中里口に至る下山道は簡易舗装された傾斜の緩やかな広い道で、役場口の急階段を嫌ってこちらから登ってくる人も多い。沿道で小粒のミカンを買って配る人あり、頬張ると意外に甘い。二宮駅前の特産品売り場へ寄る。落花生、菓子、野菜、ワインなど地元の加工食品を販売しており賑わっていた。二宮駅で解散、歩き足りないようだが遠足気分の山行もたまにはいいのではと思った。大勢の方に参加していただきありがとうございました。

反省: 侮って準備体操と整理体操をしなかったこと。

良かった事: パスモ、スイカを利用して神奈中バスの 1 日乗り放題を利用した事。

付録 (湘南平オプション山行)

大磯に住んでいる ST さんに案内していただき希望者(13 名)で大磯駅から歩いて湘南平へ行く。民家の間を抜ける急坂を登り切ると山道にでてあとは緩やかなアップダウンを繰り返し赤い電波塔のある湘南平へ、1 時間 10 分を要した。帰りは上万田の BT まで歩き神奈中バスで平塚、本厚木へ 4:45pm 頃解散。